

概要報告書

2017年度

事業種別	広域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 マザーハウス
事業名	受刑者及び刑務所出所者支援を通じた安全な社会づくりプログラム
<p>「回復プログラム」はNPO法人マザーハウス理事長五十嵐弘志が、20年間の受刑生活での実体験に基づいた「自分との向き合い方」を、カトリック教会の司教と共に人生の学びとして作成したものです。</p> <p>「自分との向き合い」は「罪との向き合い」でもあり、自分が「何故罪を犯したのか」を問うことにより、罪からの回復を図るものです。</p> <p>これらは全てのNPO法人マザーハウス「獄中会員」約700名に送付されており、真摯に向き合いを実践している方もおられます。</p> <p>今後は、もう少し専門的な部分も組み入れ、より高度な「向き合い」の実践を目指して行きたいと、現在第2弾の回復プログラムを考査中です。</p> <p>刑務所出所者に関しては、APS会議(アフタープリズンサポート)を定期的で開催し、出席者は法曹関係者、大学教授、准教授、講師、保護司、社会福祉士など多岐に渡り、様々な立場や見地からの意見・提案を話し合い、より良い社会に貢献する為に活動しております。</p>	

注)上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。